

♨️ 日帰り入浴 ♨️ 150人招待

みやぎおかみ会
県150年記念で

宮城県誕生150年を記念し、県内の温泉旅館35施設の女将でつくる「みやぎおかみ会」は、150人を日帰り入浴に無料で招待する。長引く新型コロナウイルス禍でも明るい話題を提供し、温泉旅館の心意気を示そうと企画した。

秋保や作並、松島、遠刈田など各地区の計20施設が

企画に参加。どこに入浴できるかは応募後の抽選で決まり、8月1日～12月25日の期間中に1回行ける。

3月16日の震度6強地震で大きな被害を受けた施設もあり、復旧工事を進めている。おかみ会の阿部憲子会長(59)は「大変な状況だが、東北新幹線も運行を再開した。150年は特別な機

会であり、温泉旅館に来てもらうことで地域経済を少しでも活性化したい」と話す。

ホテル松島大観荘の磯田悠子副社長(74)は「現在の客室の入りは5割程度。コロナ禍でストレスがたまっている人も多いと思うので、お風呂に入って気持ちよくなってほしい」と呼びかける。

はがき1枚で1人の申し込みができ、住所と氏名、年齢、電話番号を記入して〒984-0051仙台市若林区新寺2の1の1の901、おかみ会事務局特別企画受付宛てに郵送する。参加施設のフロントでも受け付ける。応募期間は5月1日～6月30日。連絡先は事務局022(298)8933。



各旅館自慢のお風呂の写真を手に入企画をPRする女将たち